

招選員による建築研究

隈研吾
建築都市設計
KENGO KUMAGATA
#40 120001233

KAIRA LOORO - 平和のための建築

BALOUO SALO

ARCHITECTURE
COMPETITION

WWW.KAIRALOORO.COM

建築コンペティション チルドレンズハウス

MC A

roga | HANSA

EMBT

MVRDV

AL_A

HMA
DESIGN
STUDIO

architecture
sans frontières
INTERNATIONAL

SHARON | DAVIS
design

ایم اس کاتبی - مبین مکاری
DRISS KETTANI ARCHITECTE

SAAD EL KABBAB

MOHAMED
AMINE SIANA

最優秀賞

€5.000

建設

隈研吾でのインターンシップ

インターンシップアワード

隈研吾、日本

MCA、イタリア

SBGA、イタリア

陪審

KENGO KUMA (KKA)

MARIO CUCINELLA (MCA)

AGOSTINO GHIRARDELLI (SBGA)

BENEDETTA TAGLIABUE (EMBT)

MPHETHI MOROJELE (MMA)

SHARON DAVIS

ALICE DIETSCH (AL_A)

GIUSEPPE MAZZAGLIA (MVRDV)

LIGIA NUNES (ASF INT.)

S.E.KABBAJ - D.KETTANI - M.A.SIANA

カイラ・ルーロ – 建築コンペティション

チルドレンズハウス

健康を守り栄養不良を防ぐために

イントロダクション	3
子どもの栄養不良	4
プロジェクトの骨子	9
プロジェクト	15
賞	18
陪審	19
登録手続	23
日程と期日	23
提出資料	24
評価基準	25
よくある質問	25
カイラ・ルーロ コンペティションの目的	26
Balouo Salo	30
「カイラ・ルーロ」コンペティション規定	34
パートナー	38



イントロダクション

私たちは「チルドレンズハウス」を、農村環境にあって子どもたちの栄養不良を防ぐことを目的とした活動が行われる、暖かく居心地の良い場所と考えています。今日の子どもたちは次世代のリーダーです。彼らが健全に成長できるようにすることは、より良い未来を築くために不可欠です。今日、世界で1億4900万人の子どもたちが、貧困、紛争、環境危機がもたらす栄養障害に起因する発達の遅れに苦しんでいます。特に人生最初の5年間における適切な食事の摂取は、社会生活に参加するためのすべての根本的な能力の発達に必要な心身の成長を促すことを意味しま

す。こうした理由によって、2022年度カイラ・ルーロ・コンペティションは、栄養不良の危機に瀕する子どもたちのモニタリングと支援活動の場として「チルドレンズハウス」の選出ならびに建設をその目的と決めました。これは、持続可能な開発目標(SDGs)の第2目標である「2030年までに飢餓をゼロに」に対する私たちの貢献となります。成功するでしょうか？

子どもの栄養不良

幼児期の適正な食事は、生存および心身の発達の基礎です。栄養状態の良い人は正常に成長し、学び、社会生活に参加することができます。しかしながら今日、5歳未満の子どもの少なくとも3人に1人が、見て分かるような形で、栄養不良に陥っています。

世界で約1億4900万人の5歳未満の子どもが、栄養不良が示す第一の形態である、発育阻害(スタンディング)になっています。彼らは、年齢に対して低身長で、また脳はその完全な認知能力のためには発達不全のリスクにさらされており、子ども時代に学んだり、大人になってからお金を稼いでコミュニティの発展に貢献する能力を妨げられています。

脳の萎縮により4500万人の子どもが影響を受けています。このような子どもたちは極端に痩せて免疫システムが弱体化しており、死の危険にさらされています。彼らは生き延びるために緊急のケアを必要としています。

そして最後に、世界の食料システムの変化と、脂質、糖分、塩分を多く含む加工食品の消費の増加によって、ほぼ3900万人の子どもたちが過体重になっています。

他にも、「隠れ飢餓」のような目に見えにくい形の栄養不良が、必須ビタミンや微量栄養素が不足した子どもに見受けられます。こうした欠乏症は、世界で3億4000万人を超える5歳未満の子どもに影響を与えており、発育を遅らせ、免疫システムを弱体化し、認知能力の発達を損ないます。

妊娠期間、幼児期、青年期を通じて、食事は、あらゆる形での栄養不良の

主な原因のひとつです。妊娠中、授乳中の母親が適切な栄養摂取とヘルスケアへのアクセスに欠くことは、子どもの健康に強い影響を及ぼす別の要因となっています。

貧困、食料市場の不安定性、気候危機、疫病、緊急事態、紛争、戦争、無教育、インフラの欠如、医療へのアクセス欠如や差別が、栄養不良の蔓延を助長しています。

地球が私たちに膨大な資源を供給してきたにも関わらず、世界、特にサハラ砂漠以南のアフリカと南アジアにおいて飢餓は依然として死因のトップです。GHI(世界飢餓指数)が懸念されるレベルの国々には、チャド、マダガスカル、イエメン、シリア、ブルンジ、中央アフリカ共和国、コンゴ、ソマリアがあります。

特に子どもにおける栄養不良は、したがって、世界レベルで最も優先度の高い健康と発育上の問題のひとつであり、このことから、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の第2目標とされています。2030年までに飢餓をゼロに。

注記:

参加者は、子どもの栄養不良に関する文書および詳細なレポートを入手できます。

参照元:

<https://www.unicef.org/>

<https://www.globalgoals.org>

<https://www.globalhungerindex.org/>

世界の子供たちの約半数は、子供の栄養失調に関する3つの2030SDG目標の1つ以上を達成するために軌道に乗っていない国に住んでいます。

子どもの栄養失調SDG目標に向けた進展:



グローバルな概要

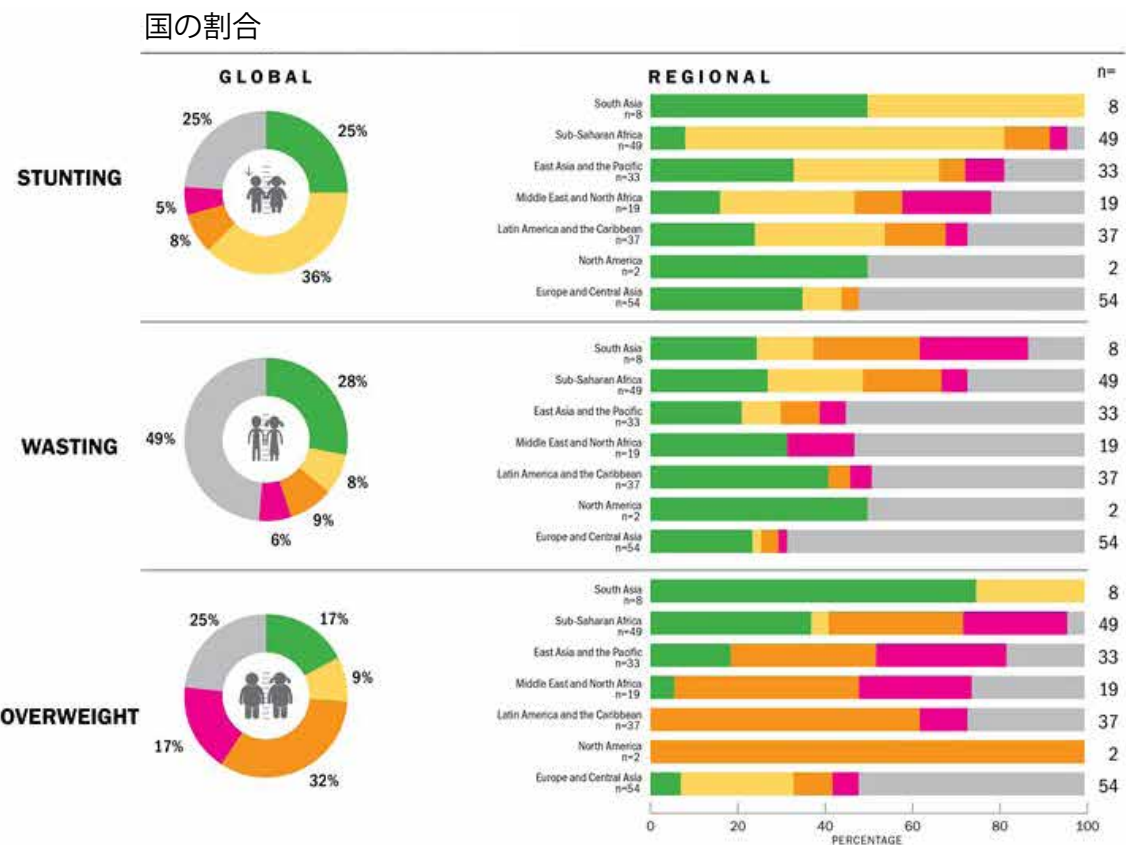
SDGsに向けた進展-世界および地域の国々の割合

の約4分の1のみ
国は発育阻害と消耗
に関する2030SDG目
標の少なくとも1つを
達成するために順調
に進んでいますが、
太りすぎの目標を達
成するために順調に
進んでいるのは5か
国のうち2つ未満で
す。

子どもの栄養失調SDG
目標に向けた進捗状況
は次のとおりです。



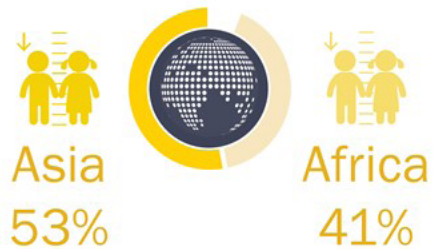
Source: UNICEF, WHO, World Bank
Group Joint Malnutrition Estimates,
2021 edition. Note: *Percentages
may not add up to 100 per cent due
to rounding. **Oceania excluding
Australia and New Zealand. See
notes on progress assessment
categories on slide 31.



UNICEF, WHO, The World Bank. Levels and trends in child malnutrition: key findings of the 2021 Edition of the Joint Child Malnutrition Estimates – UNICEF | for every child



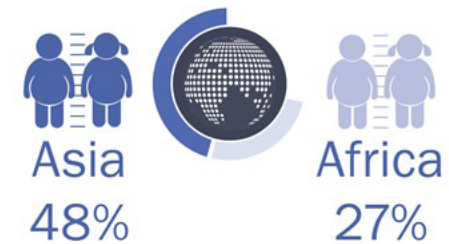
栄養失調の子供たちのほとんどはアジアとアフリカに住んでいます



2020年*には、発育阻害の影響を受けた5歳未満の子供の半数以上がアジアに住み、5人に2人がアフリカに住んでいました。



2020年*には、浪費の影響を受けた5歳未満の子供たちの3分の2以上がアジアに住み、4分の1以上がアフリカに住んでいました。



2020年*には、太りすぎの影響を受けた5歳未満の子供のほぼ半数がアジアに住み、4分の1以上がアフリカに住んでいました。

**2.37億人の世界の人
々が食糧を欠いている
か、彼らは条件にありま
せん
健康的でバランスの取
れた食事を実践する**



プロジェクトの骨子

国および地域の状況

プロジェクトのエリアは、セネガルの南に位置しています。セネガルは、サハラ以南のアフリカ西部の国で、大西洋、モーリタニア、マリ、ガンビアおよびギニアと国境を接しています。総人口は約1700万人で、大都市中心部および首都ダカールに集中しています。

南部は、領土を囲まれたガンビアも加え、そこを流れる川の名前を取ってカザマンズと呼ばれており、さらに、3つの行政地区に分かれています。ジガンショール、セデュー、コルダの3地区で、合計約150万人の住民がいます。中央の地区はセデューで、ここにプロジェクトが導入される予定です。

ここはこの国で最も開発の遅れた地域のひとつで、平均都市化率10%、平均貧困率は92%です。この地域は完全に農業に焦点を当てており、各農村は平均1500人の住民を抱えています。セデューの行政の中心地区には約2万2000人の住民がいます。

この地域では、開発の欠如、資源とインフラの欠如と、自給自足の主要供給源となる農畜産業に重大な影響を与える気候変動などの影響によって、生活の質は国の最低水準にあります。

プロジェクトはセデューの行政の中心地区からほど遠く、従って状況もさらに深刻な農村地帯で実施される予定です。ここでは、人口の97%が貧困にあえいでいます。家族世帯の88%は飲料水を利用できず、人口の60%は電気が直接通じていない家に住み、子どもの70%が中学校に進学する前に学校を辞めています。子供の栄養不良率は国で最悪の水準であり、3人のうち1人の子どもが栄養不良の危機にさらされているため、国内平均より高い死亡率となっています。

地域的状況：タナフ溪谷

タナフ溪谷は、グドンプ県の一部であるセデューにある地域にあります。その名前は、人口約9000人、経済的かつ人口的に最も代表的な村（タナフ）に由来しています。溪谷は基本的に周囲に5つの町がある480km²の貯水池から構成されています。バゲーレ、タナフ、ディウドゥブ、シンバンディ・ブラッソウ、ニアガには、複数の民族からなる8万人の住民がいます。マンディンガ族、プルール族、ウォロフ族、マンジャク族、ディオラ族、バランテ族の人々です。イスラム教が多数を占めており、ついで少数派のキリスト教、そして約1%が土着信仰を信奉しています。

ジガンショールからコルダをつなぐ6号線(国道)は溪谷を横断し、輸送と商業の面で利益を生み出しています。地域の行政の中心であるセデューは、カザマンズ川の対岸に位置しており、そこにある病院、教育機関、官公庁といったサービスへのアクセスが困難であるため、それぞれ60kmと120km離れたコルダまたはジガンショールに行くことが好まれています。

溪谷は気候変動の影響で、砂漠化と塩害の危機にさらされています。塩水浸入という珍しい現象によって1万ヘクタールの耕作地が失われ、同様に土壌と井戸が汚染されたことによって、コレラ、ジアルジア症、下痢を含む約60%の感染症や病気が発生しています。水質汚染は、子どもの栄養不良をもたらす主要原因の1つです。

村：バゲーレ

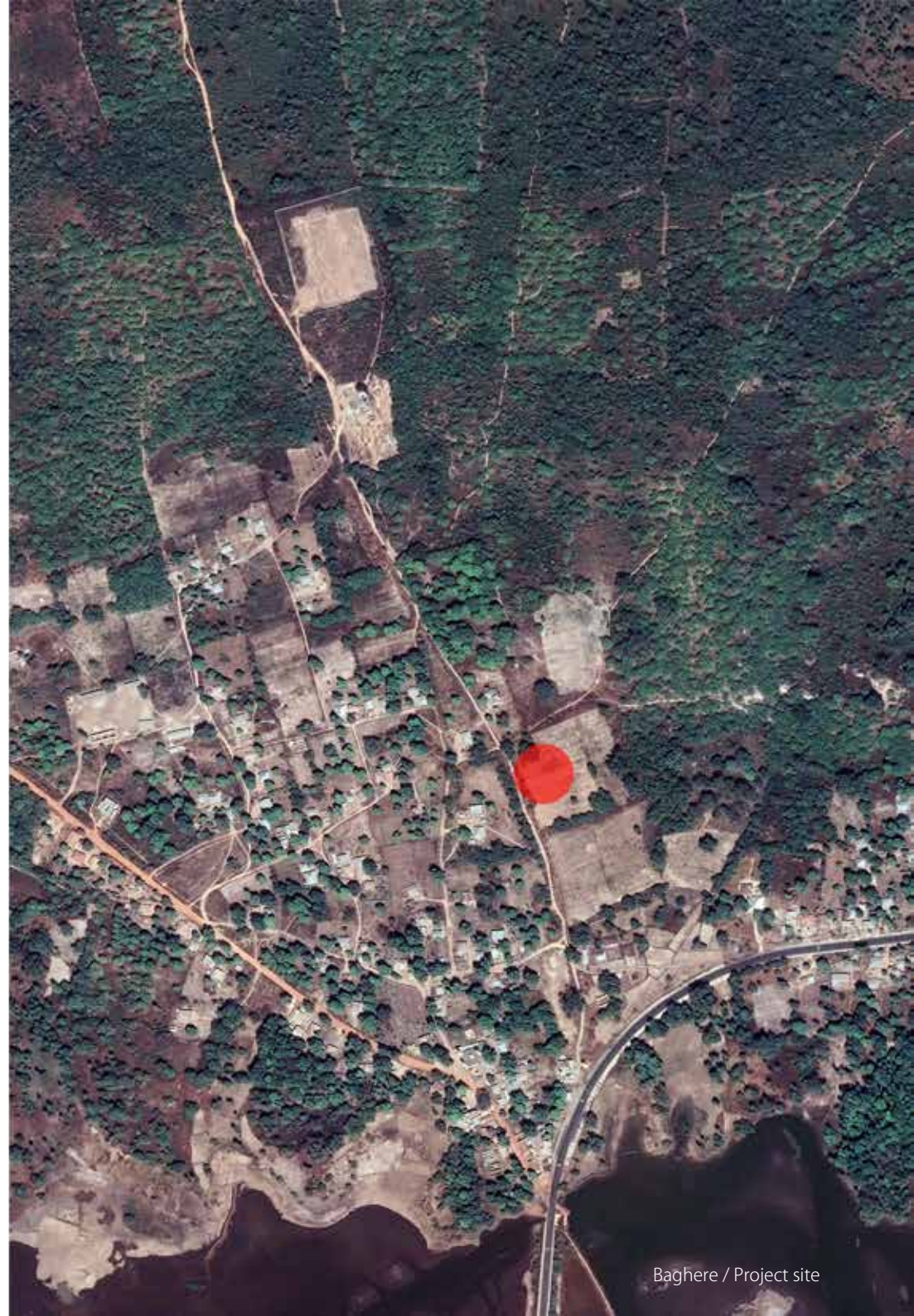
「チルドレンズハウス」は、北はバルマドゥーの森、南はギニアビサウ、



Africa / Senegal



Tanaff valley / Baghere Village



Baghere / Project site

東はニアンガの町、そして南/南西はディウドゥブ、シンバンディの町に隣接するバゲーレの町に建設されます。

町は、地形学的観点から言えば、主に砂質粘土の土壌で、米を栽培する粘土シルト土壌の谷に近く、高原はラテライト砂質です。

最低気温は12月の16度から6月の25度と変動し、最高気温は8月に31度から45度、湿度は95%まで上昇します。季節風があります。11月から3月までは東から西に暖かく乾燥した風が吹き、3月から5月にかけては貿易風が西から東に、モンスーンは6月から10月まで発生します。

地域の年間平均降雨量は1095.7mmで、6月から10月に雨が降ります。乾季は、7ヶ月から10ヶ月間続き、雨季と交互にやって来ます。町の面積は134km²で、23の村に計2万2000人の住民が住んでいます。

バゲーレは、自治体行政上の町と同格で、預言者ムハンマドの子孫の1人であるマラブーYounouss AïDARAによって建設されたことから、精神的/宗教的中心地でもあります。このことによって、村は「聖なるバゲーレ」として知られ、巡礼の地でもあります。今日、約2500人がここに住んでおり、そのうち53%が女性、58%が未成年者で、約1kmの居住エリアにいます。そこにはインフラがいくつかあります。町役場、救急サービス、井戸、サッカー場、小学校、アラブ学校とYounouss AïDARAの墓があるモスクです。

今後数年間でこのエリアに、Balouo Saloが浄水施設、教育機関、ウィメンズハウス(カイラ・ルーロ2021)を建設する予定です。加えて、約1.2km離れたところ(タナフ)に、Balouo Saloによって建設された多目的文化センターがあります。

構想

「チルドレンズハウス」の建設予定地は、バゲーレの後ろを通りバキディオト(予定地の東側)に近い国道6号から、ディアリファ村(予定地の北側)に通じる道路に面しています。

スペースは地面が平らなところが特徴で、マンゴーとアカシアの木に囲まれています。土壌は鉄を含む砂質です。

建設プロジェクトは、募集要項に示された特性(面積、高さ、大きさ)を満たす限り、区画のどの場所でどの方向にでも配置できます。

建設予定地は決定ではなく、建設段階において変更となる可能性があるため、参加者は同村内の違う区画にプロジェクトを配置することができます。







Medical guard



Primary school



Main street

プロジェクト

「チルドレンズハウス」の建物は、栄養食品の提供、衛生・健康管理上の意識向上プログラムの開発、小児・ソーシャルケアの予約の組織化、リスクのある患者への住居の提供、ならびに予防と栄養に関するベストプラクティスについて地元の家族を指導する、地域の看護師の養成などによって、子どもの栄養不良予防を目指すスペースです。

設計は、人道的プログラムの範疇において、ボランティアで構成されるチームと、利益を享受するコミュニティの参加により建設されます。このため、特定の建設要件を満たす必要があります。すなわち：

- セルフビルドに適応できる持続可能な技術の採用によって簡単に建設できるようにするため、重機や複雑な機材を使用する必要がないこと。
- 地域で入手可能な天然で/またはリサイクル資材の使用し、経済・環境的な影響を制限し、地域に収入をもたらすようにすること。
- 地域の社会的、文化的環境に馴染むこと。

建物は、以下のアクティビティを行えるよう整える必要があります。設計者のアイデアに応じて設計された各エリアは、これらのアクティビティのために独立的に機能する、または相互に関連している必要があります。

1. **運営管理。** ファイリングとアクティビティの管理と組織のための、最大で8名用のエリアが1つ必要です。ミーティングおよびその他の研修活動もこのエリアで実施できるようにしてもいいです。
2. **貯蔵。** プロジェクトの目的のひとつは、栄養療法やサプリメント、そし

てその他の医療および栄養関連の物資を提供することです。このため、最大20m²の貯蔵室が必要となります。

3. **入院対応。** 子どもの健康診断はこのエリアで実施され、子どもが危険な状態である場合は、モニタリングとケアを助けるために入院対応を提供することが可能になります。最大8台のベッドを置いた、母親と子どものための寝室が必要です。このエリアには、バスルーム付き更衣室も必要です。

4. **レクリエーション。** 子どもたちがモニタリングやケアを受け一方、心理的側面もまた重要であるため、子どもたちが家族やアシスタントのサポートを受けながらゲームをプレイできるスペースが別途必要になります。

建築物は、以下の仕様を満たす必要があります。

- 最大屋内面積は250m²で、前述のアクティビティをすべてその中で行うことができること。
- 1階のみ。したがって、上階は許可されません。
- 建設エリアは柔軟性があり、その他の活動にも適応する必要があります。
- 建築資材のみの費用(セメント、土壌、木材など)は、3万ユーロを超過してはいけません(家具と設備は含まず)。
- 近郊エリアで利用可能な自然素材、廃材、リサイクル資材の使用は推奨されます。
- 持続可能で環境に優しい建設技術を促進すること。
- 重機を必要とせず、経験のないスタッフを使って簡単にセルフビルド

できること。

- 電気設備と配管設備および付属品の設計は必要ありません。
- 周辺エリアの設計や家具のデザインは必要ありません。

登録後、参加者には、設計の作成に必要な追加資料が送信されます。

- 建築資材のデータシート、価格、画像および特徴。
- バゲーレ村とタナフ溪谷の地図。
- 村とタナフ溪谷の画像。
- CADと建設場所の写真。
- 提出資料のレイアウト



Inner roads of the villages



賞

最優秀賞

5.000€

工事

隈研吾でのインターンシップ

パートナーとの共有

展示会とイベント

本の出版

証明書

2等賞

2.000 €

イタリア、MCAでのインターンシップ

パートナーとの共有

展示会とイベント

本の出版

証明書

3等賞

1.000 €

イタリア、SBGAでのインターンシップ

パートナーとの共有

展示会とイベント

本の出版

証明書

2つの佳作

展示会とイベント

本の出版

証明書

5つの特別な言及

展示会とイベント

本の出版

証明書

20人のファイナリスト

20トップ50

展示会とイベント

本の出版

証明書

受賞したすべてのプロジェクトは、コンテストの公式本、公式ウェブサイト、およびコンテストのソーシャルネットワークで公開されます。すべてのプロジェクトは、すべてのメディアパートナー、国際的な建築ウェブサイト、雑誌に送信されます。すべてのプロジェクトは、国際、国内、地元の機関や協会と共有されます。

陪審



Kengo Kuma

Kengo Kuma & Associater
Japan, China, France

隈研吾は1954年生まれ。1990年に隈研吾 & アソシエイツを設立。慶應義塾大学、東京大学で教鞭をとった後、現在は東京大学の大学教授兼名誉教授。KKAAプロジェクトは現在30カ国以上で進行中です。隈研吾は、自然、技術、そして人間の新しい関係を開く建築を提案しています。



Mario Cucinella

Mario Cucinella Architects
Italy

マリオ・クチネッラによって1992年にパリで設立されたMC A-マリオ・クチネッラ・アーキテクト・スタジオは現在、ボローニャとミラノに拠点を置き、100人以上の専門家で構成されています。MC Aは、環境戦略とエネルギー戦略を統合する建築設計を専門としており、全体的なアプローチを通じて持続可能性の問題を調査する社内のR&D部門を利用しています。



Agostino Ghirardelli

SBGA | Blengini Ghirardelli
Italy

Agostino Ghirardelliは、1999年にUniversità degli Studi di Genovaで建築の学位を取得しました。彼は、いくつかの国際企業と協力してパートナーを務め、ニューヨークとパリで働き、世界中の建設現場を監督してきました。彼は建築と都市計画プロジェクトの研究と設計段階の両方に焦点を当てています。

陪審



Benedetta Tagliabue

Miralles Tagliabue EMBT
Spain & China

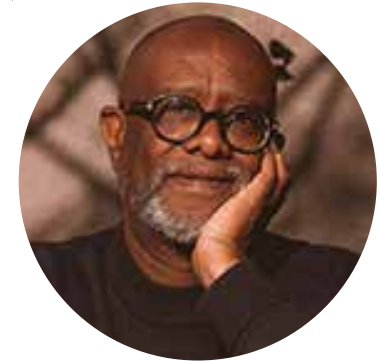
彼女はIstituti di Architettura di Venezia (IUAV) で建築を学び、現在は1994年に設立された国際建築事務所Miralles Tagliabue EMBTのディレクターを務めています。バルセロナ、上海、パリを拠点とするエンリック・ミラージェスとのコラボレーション。



Alice Dietsch

Amande Levet Architects
United Kingdom

Alice Dietschは、受賞歴のある建築スタジオAL_Aのディレクターです。最近完了したプロジェクトには、オックスフォード大学のWadham Collegeの2つの新しい建物と、サウサンプトンの癌治療慈善団体Maggie'sの新しいセンターが含まれます。



Mphethe Morojele

Mpheti Morojele Architects
South Africa

Mphethi Morojeleは、南アフリカのヨハネスブルグに拠点を置く受賞歴のある建築およびデザインスタジオであるMMA Design-Studioの所有者および創設者です。この慣行は、南アフリカで最も象徴的で文化的に重要なプロジェクトのいくつかを生み出すために協力し、エチオピア、ウガンダ、ボツワナ、モザンビーク、レソト、ブルンジでのプロジェクトでアフリカ大陸でのポートフォリオを拡大し続けています。

陪審



Giuseppe Mazzaglia

MVRDV
Holland

シニアプロジェクトリーダー兼建築家のジュゼッペマッツァグリアは、MVRDVのアジアとドイツのスタジオで働いており、深セン、上海、ベルリンの多目的ビル設計に参加しています。とりわけ、彼は深セン女性＆子供センターの設計に取り組んでいます。これは、女性と子供たちの福祉のためのさまざまな施設をホストする多目的ビルの改修です。



Sharon Davis

Sharon Davis Design
USA

創設者兼プリンシパルのSharon Davisは、受賞歴のある開業医であり、その仕事は、デザインの変革力に対する深い信念によって推進されています。2007年、コロンビア大学建築学大学院で財務の成功と修士号を取得し、ルシールスマイザーローエンフィッシュ記念賞を受賞した後、デイビスは人間中心の共同設計実践の出発点として彼女の会社を設立しました。



Ligia Nunes

Architecture Sans Frontieres
International, France

Ligia Nunesは、ポルトガルのリスボン工科大学で建築学の博士号を取得し、FAUTLによって建築学の博士号を取得しています。ETSAの建設部門-Escuela Tecnica Superior de Arquitectura、コルーニャ、エスパーニャ。1997年以来、プロジェクト、理論、建築史、建築開発協力の分野で建築の教師を務めるのは、ULP-Universidade Lusófona do Portoの助教授です。

陪審



Saad El Kabbaj

Maroc

1978年にフェズで生まれたDrissKettaniは、2003年に卒業したモロッコのラバトのEcole Nationale d'Architectureで学びました。彼は、1996年にモロッコに来る前に、コートジボワールで幼少期を過ごしました。彼は2005年にカサブランカに事務所を開設し、さまざまなプロジェクトに取り組んでいます。彼は現在、ラバトのUIR大学で教えています。



Driss Kettani

Maroc

1978年にカサブランカで生まれたSaadEl Kabbajは、モロッコのラバトにあるEcole Nationale d'Architectureで学び、2003年に卒業しました。留学中、海外（ギリシャ、チュニジア、エジプト）でいくつかの経験を積みました。彼は2005年にカサブランカに事務所を開設し、特に住宅プロジェクトに取り組んでいます。彼は現在、モハメッドVI工科大学で教鞭をとっています。



Mohamed Amine Siana

Maroc

1979年にカサブランカで生まれたMohamedAmine SIANAは、2004年にモロッコのラバトのEcole Nationale d'Architectureを卒業しました。2000年からさまざまな建築家と協力し、海外での経験を積んだ後、2005年にカサブランカに事務所を開設しました。プロジェクトの種類：インテリア、住宅、健康、デザイン。彼は現在、ラバトのUIR大学で教えています。

登録手続

参加者は個人または最大5名のチームで参加することができます。少なくともメンバーのうち1名は35歳以下であること(登録時)。登録料は、登録時期により下記の通り異なります。

早期登録 - €60 / 1チーム

通常登録 - €90 / 1チーム

後期登録 - €120 / 1チーム

登録手順は以下の通りです。

1. コンペティションウェブサイトの「登録」エリアにアクセスします。
2. 必須の欄にご記入の上、チームを登録し、クレジットカード、デビットカードまたはPayPalで登録料の支払いをしてください。
3. 登録手続きが完了すると、コンペティションの参加に利用するチームID(チームの識別コード)、ダウンロードおよび期日までにプロジェクトをアップロードするためのリンクが記載された登録完了のEメールがチームリーダー宛に送信されます。

ご注意:登録完了後2日以内に登録確認メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダをチェックして、info@kairalooro.com がブロックされていないか、迷惑メールと認識されていないかどうか確認してください。早めの登録とプロジェクトの提出をお勧めします。登録をもって、本コンペティションの規定を承諾したものとみなされます。

[登録フォームを開くにはここをクリック]

日程と期日

登録

「早期」登録は2022年1月15日から2022年2月28日(グリニッジ標準時午後11時59分)まで

「通常」登録は2022年3月1日から2022年4月10日(グリニッジ標準時午後11時59分)まで

「後期」登録は2022年4月11日から2022年5月15日(グリニッジ標準時午後11時59分)まで

設計提出期限 | 2022年6月13日(グリニッジ標準時午後11時59分)

審査員会による審査 | 2022年6月27日から2022年3月7日まで

結果発表 | 2022年7月11日

注記:

「スタンダード」、「通常」、「後期」登録の違いは、明確に設定された設計の納期に影響しません。

提出資料

すべての参加者は、以下のドキュメントを使用して提案を送信する必要があります。

• **n.A1 図版1部:** プロジェクトが提示されテキストと画像入りで説明された設計。

仕様: サイズ841 x 594 mm (A1)、PDF形式、300 dpi、最大容量30MB、英語、横向きレイアウト。

ファイル名: A1_TeamID

図版には下記が記載されている必要があります。

- 設計コンセプト;
- プロジェクトの説明として十分なグラフィカルなデザイン (図面、断面図、パンフレット、建設計画)と、スケールおよびタイプ
- 3D完成予想図 (レンダリング、スケッチまたは模型写真)

• **n.レポート 1通:** 設計プロジェクトの解説を含むテキスト文書(英語)

規格: 英語のみ、A4サイズ PDF形式。報告書に画像を使用することは許可されていません。

ファイル名: A4_TeamID

レポートには、下記内容が要約されている必要があります。

- 設計コンセプト (最大600語)
- 材料の使用について (最大300語)
- 組立/建築プロセス (最大300語)
- 概算の材料費 (表)

• **n.表紙 1枚:** 画像 (レンダリング、スケッチまたは模型写真) テキストなし、プロジェクトの表紙に使用するため。表紙にテキストを使用することは許可されていません。

規格: JPG形式、画像サイズ 1920x1080 pixel、300 dpi、横長、最大容量10MB、テキストなし。

ファイル名: Cover_TeamID

チームIDとテンプレート(A1、表紙、レポート)は、登録手続き完了の確認後に、チームリーダーにeメールで送付されます。設計図上のテキストは英語のみで記載される必要があります。すべての設計図は、指定のフォーマットでなくてはなりません。チームIDを設計図に含める事は認められません。この場合の罰則は選考からの除外となります。上記にある通り、登録後に送られるチームIDコードは、ファイル名(A1, cover, report)としてのみ使用してください。指定外の形式で送付された設計は除外の対象となります(除外理由)

評価基準

プロジェクトは、審査員会が以下の要素を考慮して評価を行います。

1) 建築設計の品質

プロジェクトが規定する機能的、社会的、形式的なニーズを満たす建築デザインをさらに生み出すことができる、設計プロセスにおける独創性と刷新性。

2) 建設と資材

セルフビルドが可能で、地域の資源を利用した建築モデルのための建設技術、ならびに持続的で環境に優しい建築資材の選択。

3) 柔軟性と環境との統合

建築設計がプロジェクトが規定する様々なアクティビティに適応し、社会的・環境的状况に調和することを保証する能力。

表彰は累積的ではありません。特別賞は、トップ3賞に入賞しなかったものから審査員から最も評価が高かったプロジェクトに与えられます。佳作は、当団体および/または審査員長によって選出されます。

コンペティションに参加するプロジェクトは、審査員会に回される前に、評価基準に基づき当団体または適切な委員会によって、コンペティションの要件を満たしているか、技術的および経済的な実現性、提案の独創性、プレゼンテーションの明確性、コンペティションのテーマとの適合性、設計提案の建築の品質、および評価基準とコンペティションの要件

をクリアしているかを事前選考されることがあります。

よくある質問

コンペティションのウェブサイトには、よくある質問への回答が掲載されています。参加者は、コンテスト期間中を通じ規定の期日までの間、以下のeメールアドレスに詳しい説明を求めるリクエストを送信することができます。info@kairalooro.com

回答は、よくある質問のセクションに英語のみで発表されます。サイトにすでに記載済みのものと同様の質問には回答しません。

KAIRA LOORO

Kaira Loooro、人道支援団体であるBalouo Saloが主催する非営利建築イベントで、主に学生、若手の建築家、エンジニアやデザイナーを対象としています。

コンペティションの名称は、マンディンガ語に由来します。マンディンガは、セネガル、ガンビア、ギニア、マリに広く分布する民族です。その意味は「平和の建設」または「平和のための建築」であり、言うなれば、平和に満ちた支援的環境の構築を目的としたアプローチという事になります。このイベントの目的は、国際社会における人道的課題への認識を高めると同時に、収益が寄付されて慈善プロジェクトが構築されるよう資金を増やすことにあります。

本コンペティションの目的は、才能ある若手の建築家に、国際的知名度とキャリア開発の機会を提供することでもあります。

本コンペティションは、持続可能なアプローチを促進し、気候変動と人道的危機に対する具体的な答えを提供しうる建築の追究を奨励しています。

最優秀の設計は、Balouo Saloが利益を享受する側に立って技術的・人道的・経済的な実現性を検証し、慈善プロジェクトとして評価され条件を満たす場合は建設されます。当団体は、その後、設計をより実現可能なものにするために変更する権利を有し、またいかなるケースにおいてもチームメンバーが建築コンセプトの作成者であることを認識しながら優勝者を関わらせます。設計が当団体の基準と合致しない場合は、その他の受賞設計が建設されることがあります。

建設費は、コンペティションの収益から共同出資されます。登録料が慈善寄付となるのはこの理由によります。

すべての受賞プロジェクトは、Balouo Saloに無償で寄贈されるものとし、当団体がこれを、アフリカの農村コミュニティの開発に従事する他の組織、パートナー機関または省庁に建設、シェア、または寄付することもあります。

本コンペティションは非営利目的であり、収益はすべて慈善活動に寄付されます。







Winner of Kaira Loro 2018 - Project by Giacomo Spanio,
Sergiu Cernea, Paolo Reali, Nicola Puppini from Italy



Winner of Kaira Loro 2017 - Project by Natalia Serafin,
Paulina Gorecka, Anita Wisniewska from Poland.

BALOUO SALO

Balouo Saloは、開発途上国の農村コミュニティにおいて生活の質を向上させるための慈善プロジェクトを築き上げることを目的とした人道支援団体です。

「Balouo Salo」という言葉は、組織が運営されている地域の主要民族グループの言語であるマンディンカ語によるもので、セネガル南部の地方の村長によって選ばれました。「生命の架け橋」を意味します。

セネガル南部で実施された最も意義あるプロジェクトのいくつかに下記のようなものがあります。

- 乳幼児死亡率を減らすため、浄水滅菌施設を備えた太陽発電源の井戸を建設 (サンバクンダ、サヌーフィリ、バゲーレの各村にて)。
- 8万人の食料供給と生計を支援するため、1万ヘクタールの水田再開発のための貯水池を設計(タナフ渓谷)
- 持続可能な発展の要因としての文化遺産の保護と教育的活動を奨励

するための多目的文化センターの建設(タナフ)

- 女性の解放と機会均等を推進するためのウィメンズハウスの建設 (カイラ・ルーロ2022年の最優秀建築設計プロジェクト)

すべてのプロジェクトは利益を享受するコミュニティの直接の関与によって建設され、自分達のものという意識と自給自足を促進します。また、「カイラ・ルーロ」を含む民間からの寄付と資金調達イベントによって全てまかなわれています。









「カイラ・ルーロ」コンペティション規定

1. 応募資格

1.1. 「カイラ・ルーロ」コンペティションは、人道的プロジェクトを支援する「Balouo Salo」アソシエーション主催の募金イベントです。

1.2. 本コンペティションには、希望する方どなたでも参加できます。

1.3. 本コンペティションは「アイデアのコンテスト」であり、イタリア共和国大統領令第430/2001号第6条に規定される賞品イベントの対象ではありません。

1.4. 各参加者は、登録時に18歳から35歳であることが、有効な身分証明書より確認できなければなりません。

1.5. 全参加者の個人情報、政令第196/03号に基づく法令に従って、この募集に関する活動の目的においてのみ取り扱われます。個人情報の取り扱いに対するいかなる拒否も、このコンペティション募集の参加への妨げとなります。

1.6. 「Balouo Salo」アソシエーションは、現行のプライバシー法において、身分証明書のコピーを請求し、参加者が提供する情報を検証する権利があります。

1.7. 参加者は、提示する情報の真正性および正確性に全責任を負うものとし、ます。「Balouo Salo」アソシエーションは、この点に関していかなる責任も負いません。

1.8. 本コンペティションの登録時に、全参加者は、発表および規則に同

意したものとみなされます。

1.9. この規則により生じたあらゆる争議解決の管轄地は、イタリアのカターニアとなります。

2. 応募条件

2.1. 「カイラ・ルーロ」コンペティションの参加登録は、個人でもチームでも可能です。

2.2. チーム参加の場合は、最大5名まで登録可能で、チームメンバーのうち少なくとも1名は、登録時に35歳以下でなくてはなりません。チームが定めたチームリーダーは、必要に応じて他のメンバーがその役割を担う場合を除いて、「カイラ・ルーロ」コンペティション主催者と直接コンタクトする権利を有する唯一のメンバーとなります。

2.3. チーム登録後は、証明できる健康上の理由を除き、構成メンバーを変更することはできません。

2.4. 参加者は、申請の上「Balouo Salo」アソシエーションから事前許可を得ない限りは、当アソシエーションが提供するコンペティション資料を、プロジェクト開発以外の目的に使用することはできません。

2.5. 参加者は、受賞者リスト発表の前に自身のプロジェクトに関する資料を公開することはできません。

2.6. これらの規定を受諾することによって、参加者は、他の参加者および「Balouo Salo」アソシエーションに対する忠誠と公正に基づいて行動することに同意したものとします。

2.7. 本コンペティションへの参加によって、参加者は、他の参加者および組織者に対する差別的および/または人種差別的態度や侮辱行為へ

¹ 条の下イタリア共和国大統領令第430/2001号第6条 a) に基づき、「カイラ・ルーロ コンペティション」は、その目的が、商業・産業分野のプロジェクトまたは研究の発表であるため賞品コンペティションとはみなされません。選考作品の作成者への賞の授与は、成し遂げた活動や仕事および熱心な取り組みが認識される助けとなり、また公共の利益への刺激としても役立ちます。

の関与を慎むものとしします。参加者は、参加者および/または「Balouo Salo」アソシエーションのイメージを損なうようないかなる行為も慎む義務があります。こうした原則に対する違反は、管轄サイト/フォーラムで取り扱われます。

3. 参加除外条項

下記プロジェクトは、「カイラ・ルーロ」コンペティションの参加から除外されます。

- 3.1. 英語以外の言語で提出されたプロジェクト。
- 3.2. 参加者の識別情報を含むプロジェクト。
- 3.3. 不完全または準拠していない提出物に基づくプロジェクト。コンペティションの募集要項に準拠していない名称のファイルが1つあるだけでも、提出したプロジェクトが除外される原因になります。
- 3.4. コンペティションの募集要項に明記された提出期限を過ぎてアップロードされた提出物に基づくプロジェクト。
- 3.5. 登録時に18歳から35歳までのメンバーが1名も含まれていないチームが提出したプロジェクト。
- 3.6. 受賞者リストの発表前に公表されたプロジェクト。
- 3.7. 参加者独自のアイデアの成果とみなされないプロジェクト。
- 3.8. **コンペティション募集要項の規定と条件のいずれかを満たさないプロジェクト。**

4. 登録料

- 4.1. 登録料はすべての登録プロジェクトに適用されます。
- 4.2. 複数のプロジェクトを提案することができます。提出する各プロジェクトにはそれぞれ異なるチームリーダーを任命する必要があります。
- 4.3. 当イニシアチブの人道的な目的、並びに登録料が全額「Balouo Salo」アソシエーションに寄付されることを考慮し、コンペティションの

結果如何に関わらず登録料は返金されません。

- 4.4. いかなる場合に置いても、登録料は返金されません。

5. コンテスト参加者と予備選考

- 5.1. 主催者は、コンペティションの正しいまたはより良い進行を図る目的で、提出期限を変更することがあります。
- 5.2. 「Balouo Salo」アソシエーションは、サーバー関連のいかなるトラブルについても責任を負いません。従って、参加者はコンペティションの募集要項に定められた期日前に余裕を持って参加登録とプロジェクトのアップロードを行うよう求められます。
- 5.3. 必要とみなされた場合、「Balouo Salo」アソシエーションは、2つの要素を考慮して参加プロジェクトの予備選考を行うことがあります。第一に、コンペティション募集要項の「評価基準」セクションに記載の評価基準。第二に、「カイラ・ルーロ」コンペティションおよび「Balouo Salo」アソシエーションの人道的な目的の遵守です。この予備選考は、「Balouo Salo」アソシエーションのメンバーまたはその委任を受けた委員会によって実施されます。

6. 審査員会

- 6.1. 審査員会と「Balouo Salo」アソシエーションの決定は最終的なものであり、申し立ての権利はありません。
- 6.2. 審査員会のメンバーは、人道的な目的に照らしあわせ、自主的に「Balouo Salo」アソシエーションのためにその役割を遂行します。「Balouo Salo」アソシエーションは、そのメンバーと「カイラ・ルーロ」コンペティション審査員会メンバーの道徳的、またプロフェッショナルとしてのイメージを保護する目的とした運営を図ります。

7. 賞

7.1. 個人またはチームとしての参加であるかに関わらず、授与される賞は1つです。賞には銀行手数料と税金が含まれます。チーム参加の場合、賞はチームリーダーもしくはチームが選んだ代表者に授与されます。

7.2. 受賞者には「Balouo Salo」アソシエーションの活動目的に必要な追加書類の提出が求められます。

7.3. 選ばれたプロジェクトは、コンペティションのチャンネルとオフィシャルブックで公示され、関連のメディアチャンネルで宣伝が行われます。受賞したプロジェクトの画像、図面およびテキストは、当アソシエーションの自由裁量権に帰属します。受賞したプロジェクトは、「Balouo Salo」アソシエーションに寄贈されます。従って、アソシエーションは、手段、時間、スペースを問わずどのようなチャンネルを通じてであれ、プロジェクトを利用、複製する権利を得ることになります。

7.4. 「Balouo Salo」アソシエーションが受賞プロジェクトの実際の施工を決定した場合、アソシエーションはプロジェクトの技術的実現性と経済的持続性を改善するために、変更と調整を行う権利があります。いかなる場合においても、「Balouo Salo」アソシエーションは受賞チームまたは第三者に対し、プロジェクトの最終的な実現について義務を負うことはありません。

7.5. 最優秀プロジェクトまたはその他の受賞プロジェクトの実現は、受賞チームのリーダーに通達されます。

7.6. 建築設計コンセプトの作者の権利は、不可侵の権利として常に尊重されます。

8. インターンシップ賞

8.1. 建築設計事務所での「インターンシップ賞」の継続期間、方法および時期は、事務所側の都合によります。受入先の事務所は、学歴および/または職歴要件の確認のため、受賞チームの履歴書、ポートフォリオ、面

接を要求することがあります。インターンシップを開始するには面接に合格することが必須条件となります。この選考段階で不合格となった場合、「Balouo Salo」アソシエーションは責任を負いません。

8.2. 旅費は受賞者の責任となります。この賞をプロジェクトチーム以外の者に移譲することはできません。

8.3. インターンシップは、コンペティションの結果発表から1年以内に実施されなくてはなりません。旅費は受賞者の負担となります。

9. 知的財産

9.1. 提出プロジェクトは、新規かつ参加者のアイデアによる独自の成果である必要があります。提出後、プロジェクトは「Balouo Salo」アソシエーションからそのように認識され、アソシエーションは第三者に対する責任を免除されます。

9.2. 各受賞プロジェクトの知的財産(建築設計コンセプトのみ言及)は、チームメンバー全員に均等に帰属するものとします。

9.3. 「Balouo Salo」アソシエーションは、受賞プロジェクトに対する剽窃行為の申し立てまたは報告があった場合に、要項を満たさないプロジェクトを査定し除外する権利を保持しています。

10. 免責条項

「カイラ・ルーロ」コンペティションの主催者、「Balouo Salo」アソシエーションのメンバー並びに審査員会のメンバーは、下記の場合において責任を免除されます。

10.1. 参加者による誤ったまたは不正確な情報の使用。

10.2. 参加者の、他の参加者または第三者に対する暴力的、人種差別的または軽蔑的な態度。

10.3. 参加者による剽窃行為および/または著作権条項の侵害。

10.4. 当イニシアチブの倫理に反する行為および/または「Balouo Salo」

アソシエーションの人道的イメージを阻害する行為、ならびに本コンペティションが支援する人道的プロジェクトの利益享受者に有形・無形のダメージを与える行動。

10.5. 「Balouo Salo」アソシエーションは、現行規則第10条記載の違反について、該当管轄に損害に対する訴訟を起こす権利を保有しています。

陪審



アソシエーションパートナー



メディアパートナー



メディアパートナー





HUMANITARIAN ORGANIZATION
BALOUO SALO

www.balouosalo.com



www.kairaloro.com